

事業計画名

豊劇新生プロジェクト

築90年の映画館をリノベーションし、地域コミュニティの活動の場を提供。国内外のクリエイターが集まり交流と制作を行う、映画館を核とした活気ある「場」の創造を目指す。

取り組みの背景

豊岡市にある映画館、「豊岡劇場（豊劇）」は、昭和2年に芝居小屋として誕生し、社交ダンスの舞台、戦時中は倉庫、そして映画館と大衆文化の場として地域住民に愛されつつも、平成24年に閉館した。

その大衆文化のシンボル、豊劇をリノベーションし、再び地域に文化の拠点をつくり上げたいとの思いから、映画上映だけでなく、映画館を応用した新しい「場」を創出することを目的に、豊劇新生プロジェクトを進めている。

取り組みの目標

- 周辺地域の文化の担い手の後押し
- 家や職場以外の第3の居場所づくり
- クリエイター、作家の育成
- 地域外、海外との交流の促進
- 地域で暮らすことを楽しむ場所づくり

取り組み内容

(有)石橋設計が劇場を譲り受け、同プロジェクトを運営。地元内外の個人、商店街、グループや地元企業に新しい会員になってもらい、国の補助金である「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」を受けて、映画上映システムをデジタル化した。

旧豊劇をもう一度映画館として復活させるのは、総人口8万人の一地方都市では事業として非常に厳しいと判断し、ロビーはリノベーションし、まち

の拠点となるカフェ・バーとして再生した。また、小ホールは座席をなくし、地域コミュニティやクリエイターのためのフリースペースに変更した。大ホールは原形を維持しつつ、映画上映だけでなくイベントなども運営。今後は室内駐車場をテナント店舗に改装し、日々の収益を上げて劇場の運営を続けていく。

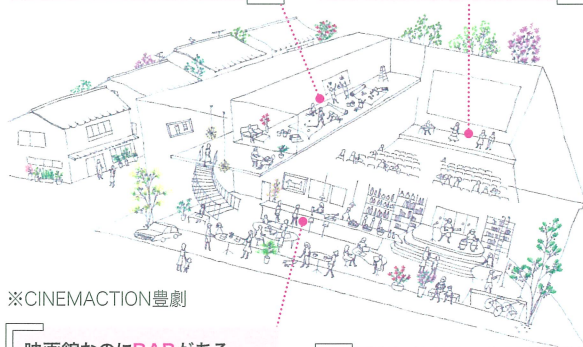
POINT 1

新規会員制度の実行

あくまで民間の営利企業として事業を行うためには、映画入場料だけに依存できないことは明らかだった。そこで、カフェ・バーでの飲食、グッズの販売に加え、ホール（小ホール・大ホール）のレンタル、テナント募集、年会費の豊劇ファンクラブの開設によって利益を創出し、運営の安定化を図っている。

映画館なのに**ライブ**もできる
小ホールはイスを取り除き、クラブイベント、ワークショップ、文化教室など誰もがさまざまな目的で自由に利用できるスペースに生まれ変わります。

映画館なのに**ダンス**もできる
大ホールは引き続き、映画上映を行います。毎日の上映も可能になりました。舞台が広がったので、地域のカラオケやダンスイベントもできるようになります。



※CINEMACTION豊劇

映画館なのに**BAR**がある
ロビーにできるカフェ・バーは映画を見なくても自由に出入りでき、本や文化、新しい何かに出会える、まちのアジ的な空間になります。

映画館なのに**Free-WiFi**
インターネットもフリーで使えるスペースで休憩や仕事場としても使うことができるようになります。

POINT1：豊岡劇場：CINEMA+ACTION=CINEMACTION、豊岡劇場、愛称「豊劇（とよげき）」



POINT 2

クラウドファンディングで小ホールを補修

クラウドファンディングにより110人から集まった271万6,000円および寄付による資金は、地域コミュニティまたは全国のクリエイターにフリースペースとして提供する、小劇場のリノベーション費用として使用した。残りは大劇場および建物全体の老朽化に対応した修繕工事に使用する。



大ホール



休憩や仕事場として使えるスペース



ロビーのカフェ・バー

有限会社石橋設計

●事業内容

不動産事業、飲食店経営、映画館経営

●主要生産設備

アパート、洋食店、劇場

所在地：〒669-5306 兵庫県豊岡市日高町水上69

TEL：0796-42-1844

FAX：0796-42-4841

設立：平成7年6月

代表者：豊劇新生プロジェクト代表 石橋 秀彦

従業員数：8人

資本金：300万円

<http://toyogeki.jp/aboutus/>

同社の強み

自社所有の不動産を活用し、新しい感覚でビジネスモデルを形成できる人材と外部ネットワーク

Comment

豊劇新生プロジェクト代表 石橋 秀彦氏



映画だけじゃない映画館でまちのにぎわいを

幼いころから豊劇に通って、映画監督に憧れ、北アイルランドの高校に留学しました。同国の大学で芸術を学び、平成11年に帰国。その後、東京で勤務し平成20年に都内で北アイルランド映画祭を主催しました。

豊岡に帰郷後、不動産事業や飲食店経営を行ってきましたが、自分を育ててくれた豊劇への熱い想いがありました。「自分の想いをビジネスの形にするにはどうすればいいか」と考えていた時、地元の金融関係の方の紹介で、兵庫県立大学経営学部の西井教授と出会いました。西井ゼミの学生も加わり、マーケティング調査や神戸・豊岡でのワークショップ、遠隔会議などを行ってたくさんのアイデアが生まれました。

オープン以降、無声映画に音楽の愛好家が自分たちのイメージの音楽を付けるワークショップや食を楽しむイベント、さらには移動上映会などで地元での新たなネットワークが広がっています。

豊劇の周辺に、おしゃれな飲食店などを集め、豊岡市民だけでなく但馬・京丹後エリアの市民、さらに広域な観光客などをターゲットにしたイベントなどを開催し、まちのにぎわいをつくっていきたいと考えています。